年間授業計画　様式例

高等学校　令和8年度（３学年用）　教科　　商業　　科目　ビジネス法規

教　科：　商業　　科　目：　ビジネス法規　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　３ 学年　　１ 組～　　５ 組

教科担当者：　（１組：舟屋　）　　（２組：舟屋　）　　（３組：舟屋　）　　（４組：舟屋　）　　（５組：舟屋　）

使用教科書：　（ ビジネス法規（実教出版）　　）

教科　商業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】ビジネス法規について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する知識を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネス社会で活用する法について考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　ビジネス法規　　の目標：　「生活と法」の学習を考慮して学習内容の順番を変更することもある

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　法の概要 １節　ビジネスにおける法の役割 ２節　法の体系と解釈・適用 【知識及び技能】 ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。	【知識及び技能】 ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○		3
	第２章　権利・義務と財産権 １節　権利・義務とその主体 【知識及び技能】 権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて見いだす。	・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。	【知識及び技能】 権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて見いだしている。	○		○	11
	中間考査			○	○		1
	第３章　財産権の変動 １節　契約 【知識及び技能】企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて見いだす。 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善しようとする。	・契約全般について、また雇用契約、売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、法規と関連付けて理解する。 ・契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	【知識及び技能】企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて見いだしている。 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。	○	○		8
	３節　物の貸借 【思考力、判断力、表現力等】 売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組む。	・売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	【思考力、判断力、表現力等】 売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	3
	期末考査			○	○		1
2学期	第３章　財産権の変動 ４節　不法行為 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する不法行為や時効の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善を図る。	契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する不法行為や時効の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。	○	○	○	3
	５節　時効 【思考力、判断力、表現力等】 不法行為や時効など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 不法行為や時効など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	1
	中間考査			○	○		1
	第４章　企業活動と法規 １節　企業活動の主体 【知識及び技能】 企業活動の主体とその商行為の概要について，商法との関連付けで理解する。	企業活動の主体とその商行為の概要について理解する。	【知識及び技能】 企業活動の主体とその商行為の概要について，商法との関連付けで理解している。	○	○		14
	２節　株式会社の特徴と機関 【知識及び技能】 株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規との関連付けで理解する。	株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。	【知識及び技能】 株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規との関連付けで理解している。	○	○	○	13
	期末考査			○	○		1

3学期	第６章　紛争の解決と予防 　１節　紛争の解決 　２節　紛争の予防 【学びに向かう力、人間性等】 企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	【学びに向かう力、人間性等】 企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	3
	卒業レポート 第７章　税と法規 １節　税の種類と法人の納税義務 【知識及び技能】 国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解する。	国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解する。	【知識及び技能】 国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解している。	○	○	○	6
	学年末考査			○	○		1
							合計 70